

別紙様式 1

令和3年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立産業観光交流センター	施設所在地	徳島市山城町東傍1-1
指定管理者名	(一財)徳島県観光協会	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2148

1 施設の概要

設置年月日	平成5年10月20日
設置目的	活力ある地域づくりの拠点として、人、もの、情報等の交流を促進し、本県産業の発展と観光等の振興に寄与することを目的とする
施設内容	多目的ホール、会議室、特別室、多目的広場、駐車場
利用料金等	施設毎の利用料、駐車場利用料、冷暖房使用料等
開館日・休館日等	毎月第3火曜日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	- 施設の運営 - 利用促進業務 - 施設維持管理業務 - 利用許可に関する業務 - 利用料金に関する業務
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 6 名 臨時職員 5 名 計 11 名
	館長（1名）：館の運営業務統括 総務課（3名）：総務業務の統括、予算・決算業等総務業務 事業企画課（6名）：施設運営業務の統括、誘致、予約受付・審査、自主事業、主催者・関係機関との調整 施設管理課（1名）：施設管理業務、管理受託者との調整 ※総務課は、（一財）徳島県観光協会総務が本務。

4 施設の利用状況

利用者数 （日） 多目的ホール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	10	8	30	31	31	19	27	26	5	1	3	18	209
	前年度	11	0	17	5	6	3	5	13	9	4	3	14	90
	前々年度	18	18	22	25	19	18	26	21	14	16	13	7	217

利用日数 （日） 会議室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	70	50	121	88	55	78	116	97	77	64	99	114	1,029
	前年度	30	20	84	83	71	77	103	87	82	65	129	134	965
	前々年度	86	125	147	133	104	142	134	165	111	119	120	78	1,464

月別利用 料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R3年度	5,150	4,042	2,017	1,929	1,168	46,131	40,265	11,926	9,628	3,522	3,563	9,493	138,834
	前年度	3,867	930	3,348	3,701	3,924	4,921	3,960	3,395	3,659	3,799	4,555	11,092	51,151
	前々年度	13,183	8,619	15,257	13,826	14,507	12,234	16,177	11,530	10,990	7,862	8,854	5,072	138,111

施設毎 利用料金収入 （千円）		多目的ホール・会議室等	駐車場				計
	R3年度	107,477	31,357				138,834
	前年度	32,315	18,836				51,151
	前々年度	104,823	33,288				138,111

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		R3年度	R2年度（前年度）	R元年度（前々年度）
収 入	指定管理料	273,000	260,000	291,190
	利用料金収入			
	事業収入			
	その他	6,345	4,621	1,650
	計	279,345	264,621	292,840
支 出	人件費	46,348	49,613	49,763
	管理運営費	199,800	193,548	200,819
	事業費			
	その他	25,626	23,466	27,074
	計	271,774	266,627	277,656
収支		7,571	-2,006	15,184

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・閑散期や繁忙期を考慮した職員のローテーション勤務や、日々の勤務時間についても催事の開催撤去に応じた時差出勤をおこなうことで人件費を抑制している。 ・ウォームビズ対応に取り組むとともに、照明器具等を適宜照明効果の高いLED照明器具に交換するなど省エネ、環境対策を図っている。 ・雨天時に傘用のビニール袋を使用していたが、環境を考慮し傘を数回振るだけで水滴を吸収する「傘のしずく取り機」を2台購入しビニールゴミの排出量削減に貢献している。
サービス向上の取組	・催物案内を毎月800部作成し、広報活動に努めている。 ・主催者アンケートの要望を管理運営に速やかに反映するように努めている。 ・利用者サービスとして、「館内LAN回線の更新」、駐車場や周辺道路の混雑状況を配信する「ライブカメラの設置」、「抗菌性ワックスによる会場備品の消毒」、特別室の壁紙及びカーテンの交換、応接室の壁紙及び絨毯の交換を行っている。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	予定通り実施できた事業もあったが、県主導で新型コロナウイルスワクチン大規模接種をアスティで実施したため、やむを得ず中止とした事業や県内の新型コロナウイルスの感染状況により何度も延期した事業など、全てが予定通りにはできなかった。
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 - 利用者ニーズの把握 - 利用者ニーズへの対応 - 施設の利用促進	A	- アンケートとして、①主催者アンケート、②来場者アンケート、③HPアンケート、④イベントアンケート、⑤アフターアンケートの5種類を実施している。 - 催物案内を毎月800部作成し、広報活動に努めている。 - 新型コロナウイルスの感染拡大の影響でオンラインの誘致活動しかできなかった。 - 主催者アンケートの要望を管理運営に速やかに反映するように努めている。
②自主事業 計画した自主事業の実施	B	予定通り実施できた事業もあったが、県主導で新型コロナウイルスワクチン大規模接種をアスティで実施したため、やむを得ず中止とした事業や県内の新型コロナウイルスの感染状況により何度も延期した事業など、全てが予定通りにはできなかった。
③適正な維持管理 - 施設の保守管理・修繕 - 年間作業計画に基づく適正な維持管理 - 県備品等の適正な管理	A	- 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、検温機、手指消毒液などの備品を施設利用者に提供し、利用者が安心・安全に利用できるよう努めている。 - 職員による日常設備点検により、修繕が必要な箇所は、協議を行った上で、早急に対応し、事故等の発生を防いでいる。 - 経年劣化が進んでいる備品についても、適宜点検し、購入・更新している。
④収支計画 - 収支計画の達成状況 - コスト削減の状況 - 外部委託の状況	A	- 県主導の「新型コロナウイルスワクチン大規模接種」の会場となり、稼働率、総使用料収入は前年度より大幅に良化した。 - 外部委託業者と連絡を密に行い、業務のブラッシュアップを図ることで、費用対効果の向上に努めている。
⑤管理運営体制等 - 管理運営業務計画書 - 職員の配置、研修計画 - 諸規程の整備 - 利用料金の徴収、減免 - モニタリングの実施状況	A	年度毎の業務計画書、管理体制等について、年度当初に提出があり、管理責任者の配置、研修計画、セルフモニタリングの実施（月次報告書で確認）等、記載どおり実施されている。
⑥職員体制 職員の労働条件	A	- 職員の労働条件について、事業計画書に記載した内容どおり確保されている。 - 職員が参加を希望した研修等について、なるべく参加できるようローテーションなどの調整を行っている。
⑦地域への貢献 - 地元雇用の状況 - 地元企業への業務委託	A	- 職員全員が地元出身である。 - 技術的な制約がある場合を除き、外部委託業務については、県内業者（協力法人）への発注に努めている。
⑧地域との連携 地元団体等との連携	A	- 各経済団体や郷土芸能団体、阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会と連携し、県内経済の発展及び郷土芸能のPRを行っている。 - 各市町村観光協会と連携し、各地のPR活動の補助をしている。
⑨安全管理 - 安全管理体制、事故防止体制 - 災害等発生時の対応体制 - マニュアルの整備、職員教育 - 個人情報保護への適正対応	A	- 新型コロナウイルス感染症に関する各種ガイドラインに則りイベントを実施している。 - 防災、火災等のマニュアルを作成し、職員へ周知をしている。 「外部記録媒体取扱要綱」を制定し、USB等によるウイルス感染対策やUTMを導入し内外部の通信監視によるセキュリティ強化を行っている。 「個人情報保護方針」を制定し、個人情報の使用目的明示及び目的外使用禁止や情報の持ち出し禁止など様々な対策を講じている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・LED照明を新しく導入し、環境に配慮している。 ・雨天時に使用する傘用のビニール袋を廃止し、「傘のしずくとり機」を購入して環境に配慮している。 ・事務所内のLANを整備し、ペーパーレス化を図っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令を遵守し、徳島県情報公開条例に基づく情報公開に関する規程を設置している。
総合評価	A	・新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残っており、大規模なイベントが開催できない中、様々な取組を行い、コスト削減に努めている。 ・新型コロナウイルスワクチン大規模接種がスムーズに実施できるよう、運営補助に努めている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

- ・開館から28年が経過しており、施設及び悦美の老朽化が顕著となっており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
- ・アフターコロナに向け、今までの様式とニューノーマルな様式の両方に適応したイベント開催に向けた新しい取組などを引き続き検討していく必要がある。